

感染症対策について

第 53 回関東中学校バスケットボール大会

感染症対策委員会

本大会では、感染症対策委員会役員による取組とチームの関係者によるご協力のもと、感染症拡大防止に努め、安心かつ円滑に運営を行っていきます。次の 2 項目について確認をお願いいたします。また、今大会におきましては、観客の人数制限は設けておりません。

(1) 感染症対策委員会役員の取組

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は 5 類感染症に移行し、以前のように感染状況に応じた行動制限はなくなりつつありますが、ここ数ヶ月で人の往来も増え、場所によっては感染者が増えている様子もうかがえます。今大会では、観客の人数制限を設けずコロナ禍前のような形になりますが、感染症はいつどのような形で広がるかわかりません。感染症対策委員会では、新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の一環として以下の取り組みをします。

- ①会場内に消毒液を設置し、会場にいる選手、チーム関係者、観戦者が使用できるようにする。
- ②T O 席の消毒作業を行い、T O を務める役員生徒が安心して業務をこなせるようサポートする。

(2) チーム関係者への周知事項

- ① 選手、保護者、その他関係者や観戦者の健康チェックシート等の提出は求めない。ただし、各チームで参加者自身の健康管理、健康観察は行うこととする。参加者に発熱者がいないことを顧問が朝に確認し、本大会における感染症拡大の予防に努める。
- ② 感染者（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等）および発病者については本大会での参加は不可とする。
- ③ 発熱等の症状が見られる体調不良者の大会出場については、状況を確認し参加各校の責任と判断に委ねる。決して無理はさせない配慮をする。
- ④ 試合終了後、各チームは使用したベンチを消毒する。そのため各チームは消毒液や布巾、除菌ペーパーの持参が必要となる。
- ⑤ ゴミは各自持ち帰りとする。（会場の美化と感染症予防の 2 つの観点から。）